

夫婦・家族合同面接の実際

現在、心理的支援は一般的に個人面接を中心として行われており、一定の効果を上げています。一方、昨今の臨床現場では、親子と一緒に来談したり、家族が面接場面に突然現れたり、葛藤解決のために夫婦二人での来談希望があったりなど、予期せぬ形で夫婦や親子の合同面接の機会が増えているのが実情といえます。

このような場合、支援者側が葛藤に巻き込まれてしまい、「面接場面で支援者が右往左往する」「支援者自身が葛藤に耐えられず代理解決をしようとする」など、支援の方向性を見失うことがしばしば生じます。

夫婦・親子など複数を対象にした面接においては、一般的な個人心理療法とは異なる理論的枠組みと治療的介入技術が求められると言えるでしょう。

この研修会では、前半は、家族合同面接の理論的枠組みと家族療法における基本的介入方法（ジョイニング、多方向への肩入れ、リフレーミングなど）をご紹介します。後半では、合同面接に求められる技術について、事例を用いた実習を通じて学びを深める予定です。

不登校、ひきこもりなどの家族問題、葛藤を抱えた夫婦の支援など家族合同面接を行う可能性がある方のご参加をお待ちしています。

記

講師：北島歩美（日本女子大学）
大町知久（創価大学）

日時：2026年3月15日（日曜日）10:00～16:00（昼食休憩1時間程度）

場所：CIVI研修センター（6階 E603）（住所：大阪市東淀川区東中島1-19-4 LUCID SQUARE SHIN-OSAKA 3・5・6・7階）最寄り駅：JR新大阪駅 <https://www.civi-c.co.jp/conferenceroom.html>

定員：40名（対面実習のみ、録画視聴なし。定員になり次第申し込みは締め切ります。）

内容：1. 家族療法における基本的介入に関する理論の紹介
2. 実習：多方向への肩入れ、ジョイニング、リフレーミング、エンパワメントなど

申込期間：2026年1月14日（水）0:00～3月9日（月）23:55

参加区分と参加費：

- ① 日本家族心理学会会員正会員、家族心理士・家族心理士補・家族相談士の有資格者：8,000円
- ② 学生会員、非会員の学生（大学院生・学部生）：5,000円
- ③ 一般参加者：10,000円

研修ポイント

- * 家族心理士・家族心理士補・家族相談士；2ポイント
- * 臨床心理士；2ポイント（申請予定）
- * 研修証明書は、録画視聴期間終了後の受講後アンケートへの回答が必須となります。アンケート回答期限以降は発行できませんのでご注意ください。